

2025 年度千葉県代協第 3 回理事会議事録

日時 2026 年 1 月 22 日(木) 13 : 15～16 : 30

場所 幕張勤労市民プラザ 2F 多目的ホール

<出席理事>(敬称略) 26 名

東正己、五木田厚、今西英人、積田淳、飯田晴夫、大森滋、高橋智之、石原丈寛、平野(鈴木)まさ代、佐藤隆二、間立徹、福原鋭司、大塚俊典、森廣賢一、相川幸雄、安藤康子、金子道大、田原豊、坂本哲哉、筒井隆行、倉富宗久、泉明弘、大下整二、横山一臣、池辺晃司、清水武史

<欠席理事>(敬称略)

篠原毅、新貝大輔、山田悦孝、石井清

<出席監事>

栗田秀美、小口泰伸

司 会 : 五木田専務理事

議 長 : 東会長

議事録作成 : 中臺事務局長

<議事> 出席理事数の確認 : 出席 26 名 欠席 4 名

1. 会長挨拶 東 正己

年頭挨拶と事業環境認識また災害対応の重要性について言及があった。
東日本大震災から 15 年という節目であり、能登半島地震から 2 年ですが、被災地の復興が続いている現実を再認識する必要がある。昨年の全国的な森林火災多発を受け、災害を風化させず、保険代理店としての備えを徹底すべき年であったと総括。災害発生時の迅速な初動対応、正確でわかりやすい説明、平時からの備えが地域に根差した代理店に強く求められている。制度変更と代理店の品質向上に関する認識が示された。金融庁の監督指針により、顧客本位の業務運営、顧客利益最善義務、比較推奨販売における合理的説明とエビデンス確保など、代理店の業務運営の質が厳しく問われている。日常の募集・説明・記録の積み重ねが、災害時の信頼基盤となる。2026 年 6 月 1 日施行予定の保険業法改正や自己点検チェックシートの本格実用化により、業務品質向上、体制整備、ガバナンス強化が求められる。変化に対応できない代理店は今後淘汰される可能性があるとの見解が示された。理事会への期待として、協会の方向性や重点政策について率直な意見交換を行い、実りある議論につなげたいとの意向が表明された。

2. 報告事項

(1) 会長・委員会報告

東会長 : 10 月 14 日教育委員会。10 月 16 日出前講座の公式研修会。10 月 18 日木更津支部レクリエーション。10 月 20 日 日本損保協会と打ち合わせの後、自動車盗難対策協議会に CSR 高橋委員長と出席。10 月 22 日千葉県代協セミナー。10 月 29 日木更津支部の地震保険普及キャンペーン。10 月 31 日から 11 月 1 日栃木県で東関東ブロック協議会と人材育成研修会に宿泊での参加。11 月 10 日「小林鷹之と明日の日本を語る会」に参加できなかったため今西さんと五木田さんに代理出席していただきました。11 月 11 日千葉県損害保

険防犯対策協議会に来賓として出席。11月13日70周年記念式典実行委員会と三役会。11月14日茂原支部ボウリング大会。11月17日篠原広報委員長とLINEの公式アカウントについての打ち合わせ。11月28日千葉日報社に篠原広報委員長同席で、メディアを活用した70周年記念式典の広報について打ち合わせ。12月4日市原市役所危機管理課に、ぼうさい探検隊の提案と、防災について避難所の開設等を提案。12月5日日本代協の会長懇談会をウェブ参加の後、CSR委員会の忘年会。12月6日安房支部忘年会。12月12日70周年記念式典実行委員会、三役会、支部長・三役会、その後忘年会。12月18日ホテルグリーンタワー幕張の高松さんと、70周年記念式典の打ち合わせを小口実行委員長・五木田専務同席で行いました。12月19日市立船橋高校の出前講座に出席。12月23日事務局に新しい方が入られましたので新人研修ということで一時間ほど行いました。1月6日千葉日報社主催の「県民の集い」に今西委員長・高橋委員長の3名で出席しました。1月15日埼玉県代協主催の賠償セミナー、積田委員長の日本代協アカデミーのセミナーに出席。1月16日企画環境委員会に出席。

参加させていただきました安房支部・茂原支部・木更津支部の支部活動イベント、いろいろな意見交換もすることが出来、ありがとうございました。本当に楽しく役に立ち、また受けたくなるような活動を是非とも続けていきたいと思います。

12月5日の会長懇談会で、2026年度事業計画への提言と自己点検チェックシート、支部活性化についての討議が行われました。提言はいくつかありましたが特に二つお伝えします。一つ目は神奈川代協の提案として、新人教育システムのリリースというのがあります。昨今、保険会社の研修生制度がどんどん廃止になり、新しい人材は自分たちによって教育をしていかなければならない、そんな中で一から保険を全く知らない人たちにどうやって教育していけばいいかというような仕組みづくり、そのようなツールを作ってほしいというのがありました。もちろん有料でもいいと思います。社会人教育、基本的な保険の知識、やってはいけないこと、業界知識などコンテンツで教育プログラムの作成が出来ればとのことです。二つ目は、長崎県代協で、代協主導の自主点検品質評価制度ということで、損保協会の自己点検チェックシートではなく日本代協独自の基準を制定して、大学の経営改善ツールとして作りそれを活用できるような体制にもっていききたい。それと公正取引委員会の見解を活用した団体協議の制度化ということで、保険会社の優越的地位の乱用防止や手数料ポイント制度の透明化を代協が主導するという意見が、次年度の事業計画への提言としてありました。2026年度の事業計画が3月臨時総会で決が採られます。千葉代協としても事業計画に沿って作っていききたいという考えです。

自己点検チェックシートについて、多くの会員が「大変」「わかりにくい」「量が多い」と感じている現状が報告された。対応策として、日本代協の各委員長が内容を集約した「集約報告書」が作成されたことが共有された。各支部での勉強会等での活用を促す予定。

日本代協特別賞を受賞した愛知県代協の橘会長が、支部活性化について説明とグループ討議を実施した。

教育（積田教育委員長）2026年度のコンサルティングコースは、募集開始早々の2025年12月中から全国的に申込みが殺到している。特にAIG損保の代理店からの申込みが多い。背景として、AIGの制度見直しより、トータルプランナー資格の取得が明記されるようになったことが挙げられる。運営の都合上、申込者数が2,200名に達した時点で、当初予定の2月第2金曜日を待た

ずに締め切られることが損保協会から通知されている。先週時点で既に2,000名に到達する勢いであるため、早めの申込みが推奨される。

千葉代協の日本代協アカデミー利用率は、会員数ベースで規模の大きい大阪代協に次いで高くなっている。会員からの自主的な申込みも増えている。アカデミーのコンテンツは、新人教育、中堅社員向け、経営者向けに区分されており、代理店業務品質評価制度の全項目を網羅している。報告者(積田)自身もコンテンツ制作に携わっている。自社の教育体制に不安がある場合、アカデミーを補足材料または主要なエビデンスとして活用することが推奨される。

企画環境(大森企画環境委員長)1月16日第3回委員会の開催。3月度の目標として、事業継承を中心とした代理店の価値向上策の取り組み状況と今後の予定についての報告を受けた。ジギョケイワークショップに関して、あいおいニッセイ同和損保からの案内が遅く、日程的に余裕がないため、参加が難しかったという報告があったので、あいおいニッセイ同和損保に対してスケジュール管理を徹底するよう申し入れをした。

2月3日損保協会主催のジギョケイセミナーが開催されます。損保会館2階で14時30分受付、15時~17時のリアル開催となります。定員120名ですが、現在申込みは60名とのことです。参加対象者は一般企業及び当協会の会員ですので、皆様の参加と、顧客企業への呼びかけをお願いしたい。

組織(飯田組織委員長)1月21日現在、正式加入は14店です。2月1日見込みが1店ですので、正式加入となれば、無事目標達成となります。さらに申込書待ちが2店あります。2月に開催される木更津支部・茂原支部・市原支部合同新春セミナーでの新入会員募集にも期待します。ただ今後3月31日までに、合併や廃業により更に10店ほど退会が見込まれています。

組織率に関しては、代理店総数の減少により過去10年間で28%から40%に向上している。組織委員会は、日本代協アカデミーや代理店賠償などを活用しながら仲間を増やす役割を担っており、新入会員と最初に接する組織として一層の協力を要請した。

CSR(高橋CSR委員長)12月に委員会を開催し、出前講座が1件決定したこと、赤い羽根共同募金、ぼうさい探検隊の結果等が共有された。

出前講座の実施は12月19日船橋市立船橋高校において、396名対象で行い317名のアンケート回答があり、100件超のコメントが寄せられた。今後の出前講座提案の際の貴重な参考資料として活用が推奨される。例えば各支部で講座を実施する際に、これらの好意的な反応を参考資料として活用し、開催を働きかけること等、参考にしてください。

2月15日に木更津支部にて、千葉県小学生ソフトテニス親子大会にCSR委員会としてブースを出展し、「ぼうさい探検隊」と「出前講座」の展示を行う。

赤い羽根共同募金は、昨年と同様に「こどもたちの未来を守る募金」と「全ての団体へ分配」の2つにする方針。

ぼうさい探検隊は、申込4団体、提出4団体で佳作として2校入賞した。茂原支部の一宮小学校、市原支部のちはら台桜小学校で、日本代協から鉛筆が参加証として、千葉県代協からは、蛍光ペンを直接渡す予定です。今回一宮小学校が受賞しましたが、千葉県代協経由での応募の記入が漏れていたため、日本代協に確認したが、提出後の修正ができないとのことでした。今後提出の際に必ず「千葉県代協」経由であることの明記を徹底してもらいたい。

第4回委員会は、3月6日、よつば総合法律事務所で開催予定

広報(篠原広報委員長)家族の体調不良で欠席のため代理による報告。70周年記念式典に関する記事を掲載した機関誌を3月頃に発行予定。千葉日報社と

の打ち合わせで、総会時の広告掲載について協議する。次回委員会は、2月17日予定

総務（今西総務委員長）予算は、会費収入1,600万円、事業収益100万円ですが、現状会費収入1,567万2,500円、事業収益50万1,000円ですので、予算に対して約80万円の減収で推移している。支出の使用率は57.4%です。あと日本代協への会費350万円があります。

事務局の職員体制ですが、10月の理事会後、1名体制で勤務の職員より退職の申し出があり、11月に採用活動を行い、1名体制の不安を解消するため2名の採用を決定。12月1日より伊東さん、1月1日より紺野さんです。退職希望の金持さんの退職時期は未定で、当面は新旧職員が併存する体制となります。採用が困難な状況もあるため、新職員が長く勤務できるよう、皆で優しく接するよう協力が求められた。

(2) 70周年記念式典委員会（小口委員長）

日時：2月13日（金）場所：ホテルグリーンタワー幕張4階 参加費：無料

第1部 記念講演（15：00～16：30）講師：増田明美氏

第2部 式典・懇親会（17：30～） 1, 会長挨拶 2, 功労者表彰・記念品授与〔選考基準：日本代協の功労者基準に準じ、65歳以上で現役の役員（理事・監事）を除き、かつ50周年以降の功労者から選出〕 3, 来賓紹介 4, 来賓挨拶（衆議院解散の影響により、当初参加予定だった国会議員の出席が流動的です）

5, 祝電の披露

正会員には、12月末頃にプログラム等送付済です。先週理事及び各委員会メールで参加案内をお送りしました。

千葉県代協の紹介ブースを設置予定で、目的として千葉県代協の多様な取り組みを、全国からの来場者に紹介するためです。CSR委員会では、ぼうさい探検隊・出前講座。組織委員会では、組織率・会員数。各支部でのCSR活動（清掃活動・献血活動）。千葉県代協のレクリエーション活動の貼り出しです。当日、ブースで説明員として協力できる方を募集。事前準備は不要で、会場と一緒に対応して頂ければとのことです。

最近の新年会等では保険会社の参加が難しい状況ですが、今回は大手4社の支店長が全員出席します。出席には条件が付けられており、例えば、各社の支店長は同じテーブルに着席しないことなどが求められています。

式典・懇親会終了後に1人4,000円でホテルグリーンタワー幕張内の「幕張倶楽部」で打ち上げを行いますので、是非参加してください。

(3) 各支部報告

北総（石井支部長）支部長欠席のため倉富さん報告。10月20日支部役員会で委員会活動報告等。忘年会は開催なし。次回役員会は2月5日に新年会を兼ねて開催予定です。

銚子（石原支部長）第4回・第5回役員会を開催。1月14日の第5回役員会で、新旧役員の改選が行われた。新役員候補8名中7名で、新年度の支部の役職、代協理事、各委員会担当を決定し、議事録を事務局に報告済です。1名欠席だが連絡は取れている。新旧役員が揃った場で、2026年度の事業計画のアウトラインを作成し引き継ぎを行った。年間スケジュールについても、ある程度の調整が完了した。2026年度の支部総会を4月10日旭市の「おひさまテラス」で開催することを決定。役員会后、現役員での懇親会を開催し、情報共有と新年度に向けた結束を図りました。

木更津（森廣支部長）10月18日支部リクリエーションでお台場スカイツリーコースに29名で参加。10月31日支部役員会。11月8日日本代協コンベンション

ンに森廣支部長参加。11月18日県代協レクリエーションの東京消防庁本所防災館視察に森廣支部長参加。12月2日役員会及び忘年会。12月12日支部長・三役会と忘年会。1月14日支部役員会で2026年度の新役員を決定し報告済。1月15日埼玉代協主催のセミナーにズーム参加。2月15日「親子テニス大会」を開催し東会長に開会式に参列を依頼。高橋CSR委員長がぼうさい探検隊と出前講座のブースを出し展示する。2月18日(水)木更津支部・茂原支部・市原支部合同の野元講師による新春セミナー「今一体何が起きているのか、代理店はどこに向かえばいいのか」を開催します。13時30分から15時30分講演10分休憩で15時40分から1時間、質疑応答の予定です。今回のセミナーは、特に従業員が聴講することを推奨。従業員が講演内容を理解することで、今後の代理店の体制整備をスムーズに進めることが出来る。保険会社が代理店を淘汰しようとしている状況下で、どのように生き残っていくかを従業員と共に考える場にしたい。1月16日現在で91名の申込みですが、1月末まで延長しているので多くの方の参加を希望。

東葛(横山支部長)役員会の開催日程を調整中。支部総会日にセミナーを検討。京葉(新貝支部長)支部長欠席の為、安藤さん報告。11月16日定例の「船橋市をきれいにする日」8名で参加。その後、津田沼で献血キャンペーンに参加。昼食を取りながら第3回役員会で次期役員について検討した。1月28日役員会の後、賀詞交歓会。支部総会日は4月3日です。

茂原(泉支部長)11月14日第4回役員会を実施し、次期役員の検討。その後ボウリング大会と懇親会を開催。12月10日に忘年会。1月14日第5回役員会を開催し次期役員を決定。3月12日第6回役員会予定。支部総会日は4月10日予定です。

市原(福原支部長)11月10日第4回役員会を開催し、市原市の出前講座「おでかけくん」セミナーの項目の決定。1月23日サンプラザ市原で開催。第5回役員会は3月9日開催予定。

安房(佐藤支部長)11月4日第4回役員会、12月6日うなぎの新松で忘年会。12月15日第5回役員会とあいおい主催のジギョケイセミナーへの協力。2月2日第6回役員会、3月3日地元紙の房日新聞に会員の掲載、3月12日に第7回役員会、3月20日館山のイオンタウンで献血活動、4月2日会計監査と第8回役員会。支部総会日は4月10日予定。

千葉(田原支部長)11月26日役員会で2月の新年会を検討。2月5日役員会で支部セミナーについて検討、その後新年会を開催。

(4) その他

事務局：・支部活動報告と支部総会の日程報告を3月20日までに事務局にお送りください。総会資料の作成の為、是非ともお願い致します。事務局から改めてメールで案内を送付。案内メールには、昨年度の総会内容を記載したフォーマットを添付する。各支部はそのフォーマットに今年度の予定を記入して返信してください。

・「サイバーセキュリティ in 千葉」3月13日15:00~17:00 千葉商工会議所第1ホール 主催：日本損害保険協会・関東支部 千葉損保会 後援：千葉県損害保険代理業協会で開催されます。各代理店のセキュリティ担当者、IT担当者の方々も是非とも参加していただいて、店主だけ知っていればいい、分かっているといいということではなく、従業員の皆さん全員が同じ意識を持って取り組まなければならないという時代ですので、多くの方に参加して頂きたい。リアル開催のみですが、千葉支部のセミナーとしての開催を検討ください。

・三冠王については、達成が見込まれるため例年実施している新規入会キャンペーンは今年度実施しない。

・皆様にメールでお送りしておりますが、日本代協から「活力研に関するご意見」の募集があります。一つ目は「自己点検チェックシートの取り組み」について、今年度の取り組み状況の振り返り、及び本格運用となる来年度に向けての各社方針の説明を受けるとともに、より実効性のある取り組みに向けた今後の連携等について意見交換をしたいと思っております。これについてのご意見を皆様にお願ひします。それから、手数料体系についても、顧客本位の観点から望ましい代理店手数料ポイント制度に関する意見交換です。各理事は支部の中で意見を集約して、2月20日までに提出をお願いします。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（2025年度第2回理事会）承認の件： 承認

(2) 千葉支部・市原支部合併について：前回理事会で市原支部の廃止が承認された後、市原支部長と協議した。市原支部の会員が希望する支部へ個別に移転する案もあったが、事務局の事務負担が大きいことが懸念され、支部全員が千葉支部に移転する。その後、他の支部への移転を希望する会員は、翌年度以降に手続を行うことで対応する。： 承認

支部運営規則の改正は、第2条第1項の別表に支部の地域があり、千葉支部に市原市を追記するということになるが、市原支部の廃止に伴って改正するところについて、次回理事会に提案する。

(3) 2026年度県代協総会記念セミナーについて：教育委員会でバックアップすることと、積田教育委員長からの提案

提案内容：日本地震再保険株式会社を講師として招き、地震保険や防災・減殺に関するセミナーを実施したいとのこと。

背景：昨年9月に新潟で開催された、「ぼうさいこくたい2025」で同社のブースを訪問し、有益な情報を得た。同社は全国の代理店会からもセミナー依頼を受けている実績がある。今年が東日本大震災から15年の節目であることもこのテーマを選んだ理由の一つ。

補足：被災代理店の声を聴くパネルディスカッションも検討されたが、今回はこの案で進めたい意向が示された。講師料と交通費は不要とのこと： 承認

(4) コンベンションPT選出について：毎11月開催のコンベンションのPTメンバーの選出について各支部に依頼していたが、昨年メンバーの茂原の溝口さんは2年目ということで、もう1年お願いしております。市原支部の齋藤さんが立候補されましたので、この2名での候補で採決： 承認

(5) 次年度支部長および支部選出理事報告の件：（五木田専務理事）任期が2年で次年度改選となります。報告書を送るので、新しい理事と支部長報告を2月20日までに返信ください。委員は支部総会までに決めて下さい。

（規約上の理事選出枠は、支部2名。30名を超える場合、15名ごとに1名の枠が追加で認められる）

(6) 代協推薦議員の件（小口理事・選挙対策委員長）千葉代協としての推薦は、小林鷹之氏です。今回は1名の推薦のみで修正なしということです。今後議員を推薦してもらいたい場合、私（小口）含め三役で面談し、考え方とか、協力していただきたいこととかを話をさせていただき、推薦したいということであれば理事会に諮ります。： 承認

(7) 代協LINEについて（篠原広報委員長欠席のため、佐藤安房支部長）公式アカウントで、去年6月・7月・12月に配信しましたが、文章が長い。趣旨自体が明確でない・写真を冒頭に置いたほうがいい等様々な意見をいただいています。委員会の方向性として、できるだけ会員数を伸ばして今年度中に公式アカウントを確立したいと思います。70周年記念式典の受付で会員にQRコードを配布し、従業員を含め登録推進を進めます。またメールでも会員に配信します。今現在は、配信案内のみとなっていますが、これを第1段階とし、第2段階としてLINEの公式アカウントを使い会員が利用しやすいように、ボタン1つで千葉代協のホームページ・日本代協のホームページ・金融庁のホームページ等が、すぐ開けるといいうような活用で、使い勝手がいいものになるのではないかと、いう風に考えています。他に何かこういった使い方ができればいいと思われるご意見があれば、2月17日の第3回委員会で議論します。： 承認

(8) その他

- ・赤い羽根共同募金の使途（高橋CSR委員長）去年と同じ「子供たちの未来を守る募金」と「全ての団体へ分配」の2つに半々に募金： 承認
- ・70周年記念講演会の参加者募集（今西総務委員長） 現状70名弱なので何とか増やし120名ぐらいにしたい。声かけの対象として、保険会社の社員・皆さんの担当支社・担当者に懇親会はなしで、記念講演に参加案内をお願いします。案内のチラシを作成するのでお願いします。会員の従業員の方に案内が伝わっていないケースが多いようですので、会員の方に、従業員の方にも是非案内をするようお願いします。

4・監事講評

小口監事：議事が盛りだくさんという割には30分早く終わっているということで、裏を返せばあまり意見が出なかったということだと考えます。「何か意見を出してください」「他にいい案がありますか」と意見を求めるのであれば、せめて1週間ぐらい前には案内しなければ、この場で何か意見をと、突然言われてもなかなか出ないと思う。本日の議事自体、配信が昨日でした。事前に意見等が欲しいのであれば、意見を言ってもらいたいとの案内をしてほしいと思います。12月に北海道三陸沖後発地震注意情報が気象庁から発表されました。この制度が出来て初めての発表でしたが、対象地域に千葉県太平洋岸、銚子市から館山市まで含まれていました。私の知っている限りでは、千葉代協から何の発信もありませんでした。地震に関することですので会員向けメールやLINE発信、一般の方向けにホームページへ掲載等、何らかの情報発信は欲しかったと思いますので、今後考えて頂ければと思います。

栗田監事：2月18日の新春セミナーに多くの方々の参加を募集中です。定員が500名の会場ですので、100名を超える参加者をと募集中です。従業員の方も一緒に来てほしいと案内をして頂ければと思います。2月13日の70周年記念式典、そして2月18日の新春セミナーの2つを成功させたいので、是非皆様のご協力をお願い致します。

以上

（次回理事会）

2026年4月16日（木） 午後1:00～ 於 幕張勤労市民プラザ